

予算決算委員会総務文教分科会記録

[第2日目]

1 日 時	令和6年3月18日（月曜日）
開 会	午前 9時58分
休 憩	午前10時03分
再 開	午前10時12分
休 憩	午前10時14分
再 開	午前10時15分
休 憩	午前10時20分
再 開	午前10時26分
休 憩	午後 0時27分
再 開	午後 2時25分
休 憩	午後 2時55分
再 開	午後 3時06分
休 憩	午後 3時58分
再 開	午後 4時54分
閉 会	午後 5時12分

2 場 所	第 1 委 員 会 室
-------	-------------

3 出席委員	8人
分科会長	松 井 邦 人
分科会副会長	金 岡 貴 裕
委 員	飯 山 勝 彦
//	東 篤
//	松 尾 茂

委 員	鋪 田 博 紀
//	赤 星 ゆかり
//	柞 山 数 男

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長	金 厚 有 豊
-----	---------

6 説明のために出席した者

【議会事務局】

事務局長	渡辺 康裕
事務局次長	大野 満
庶務課長	山下 達也
議事調査課長	坂口 輝之
庶務課主幹	中川 誠

【監査委員事務局】

事務局長	鎌田 泰史
事務局次長	本多 寛明

【選挙管理委員会事務局】

事務局長	荒井 敦志
事務局次長	桜井 光王

【企画管理部】

部長	前田 一士
法務指導監	福島 武司
理事（ガラス美術館長）	土田 ルリ子
部次長	刑部 博規
部次長（行政改革・公共施設再編・人事管理担当）	関谷 雄一
情報企画監	小倉 康男
参事（政策秘書担当）	本郷 由佳
参事（企画調整課長）	高橋 洋
参事（文化国際課長）	豊島 栄治
参事（富山ガラス造形研究所主任教授）	本郷 仁
参事（婦中ふれあい館長）	宮前 仁
行政経営課長	岸 聡之
文書法務課長	東福 光晴
職員課長	竹内 孝
秘書課長	植野 聡希
広報課長	栗山 朋子
情報システム課長	中川 哲也
スマートシティ推進課長	越村 真
ガラス美術館次長	水原 秀樹
職員研修所長	舛田 恵美
公文書館長	木下 満
富山外国語専門学校事務長	横越 純
富山ガラス造形研究所事務長	佐伯 緑子
企画調整課主幹（調整担当）	堀 友彰

【防災危機管理部】

部長	中村 敏之
部次長	増山 和弘
参事（少年指導担当）	小善 誠
防災危機管理課長	山口 敬
生活安全交通課長	廣瀬 康之
防災危機管理課主幹（調整担当）	大浦 寛之
防災危機管理課主幹	児島 誠
生活安全交通課主幹	坂田 智成

【教育委員会】

事務局長	砂田 友和
理事（事務局次長（総務・社会教育担当））	古西 達也
事務局次長（学校教育担当）（教育センター所長併任）	竹脇 孝志
図書館長	越野 伸二
科学博物館長	水高 清志
民俗民芸村管理センター村長	若木 佳之
参事（郷土博物館長）	坂森 幹浩
教育総務課長	青山 哲也
学校再編推進課長	山口 雅之
学校施設課長	高瀬 雅基
学校教育課長	福満 弘信
学校保健課長	由水 正恵
生涯学習課長	加藤 孝一
教育行政センター所長	片山 尚之
埋蔵文化財センター所長	堀沢 祐一
市民学習センター次長	寺島 優子
教育総務課主幹（調整担当）	仙石 正明

【財務部】

部長	牧田 栄一
部次長	石金 俊介
部次長（税務担当）	笠間 信行
参事（資産活用担当）	高場 英人
参事（債権管理担当）	加藤 康博
財政課長	中山 武史
管財課長	高道 伸治
契約課長	高波 宏明
工事検査課長	坂井 義隆
納税課長	瀬川 智行
市民税課長	大島 聡
資産税課長	小川 徹雄
債権管理対策課長	川崎 隆人
財政課主幹（調整担当）	原城 禄充

【出納課】

会計管理者	高畠 利明
参事（出納課長）	高橋 祐子

7 職務のために出席した者**【議会事務局】**

議事調査課議事係長	土方 智樹
議事調査課主任	田伏 由佳
議事調査課主任	杉林 睦美

8 会議の概要

分科会長 ただいまから、予算決算委員会総務文教分科会を開きます。
 なお、本日は地方自治法第105条の規定に基づき、金厚議長が出席されています。
 委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたします。
 これより、議会事務局所管分の議案の審査を行います。
 議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算中、歳出第1款議会費を議題といたします。
 これより、当局の説明を求めます。

議会事務局長 〔挨拶〕

議会事務局次長 〔議会事務局所管分の概要について、議案説明資料により説明〕

議事調査課長 〔議案第1号について、議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
 質疑はありませんか。

 〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
 これより、議案第1号中議会事務局所管分の意見の表明を行います。
 意見の表明はありませんか。

 〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、総務文教分科会議会事務局所管分を終了いたします。

午前 10 時 03 分 休憩

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

午前 10 時 12 分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会監査委員事務局所管分の
議案の審査を行います。
議案第 1 号 令和 6 年度富山市一般会計予算、第 1
条歳入歳出予算、歳出第 2 款総務費中、監査委員事
務局所管分
を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

監査委員事務局長 〔挨拶〕

監査委員事務局次長 〔令和 6 年度予算に関する説明書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結
いたします。
これより、議案第 1 号中監査委員事務局所管分の意
見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、総務文教分科会監査委員事務局所管分を終
了いたします。

午前 10 時 14 分 休憩

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

午前 10 時 15 分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会選挙管理委員会事務局所管分の議案の審査を行います。
議案第 1 号 令和 6 年度富山市一般会計予算、第 1 条歳入歳出予算、歳出第 2 款総務費中、選挙管理委員会事務局所管分
を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

選挙管理委員会 〔挨拶〕
事務局 長

選挙管理委員会 〔議案説明資料により説明〕
事務局 次長

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第 1 号中選挙管理委員会事務局所管分の意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、総務文教分科会選挙管理委員会事務局所管分を終了いたします。

午前 10 時 20 分 休憩

~~~~~

午前 10 時 26 分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会企画管理部所管分の議案

の審査を行います。

議案第１号 令和６年度富山市一般会計予算、第１条歳入歳出予算、歳出第２款総務費中、企画管理部所管分、第３条債務負担行為中、企画管理部所管分を議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

企画管理部長 〔挨拶〕

企画管理部次長 〔企画管理部所管分の概要について、議案説明資料により説明〕

職員課長 〔議案第１号中  
有給インターンシップ事業について、  
議案説明資料により説明〕

秘書課長 〔議案第１号中  
北信越市長会総会開催事業について、  
議案説明資料により説明〕

企画調整課長 〔議案第１号中  
移住者受入促進事業について、  
SDGs推進事業について、  
議案説明資料により説明〕

広報課長 〔議案第１号中  
選ばれるまちづくり事業について、  
議案説明資料により説明〕

スマートシティ  
推進課長 〔議案第１号中  
未来共創推進事業について、  
センサーネットワーク利活用促進事業について、  
スマートシティ推進支援事業について、  
スマートシティ推進プロジェクト創出事業について、  
議案説明資料により説明〕

文化国際課長 〔議案第１号中  
富山ガラス工房開設３０周年記念事業について、

T o y a m a   G l a s s まちなかショールーム事業について、  
タニノクロウ演劇ワークショップ事業について、  
（仮称）T O Y A M A まちなか音楽祭開催事業について、  
富山市芸術文化ホールの特典天井改修及び大規模改修設計業務について、  
富山市民芸術創造センターの特典天井改修事業について、  
議案説明資料により説明〕

情報システム課長   〔議案第１号中  
基幹業務システム標準化事業について、  
議案説明資料により説明〕

ガラス造形           〔議案第１号中  
バーナーワーク必修科目化事業について、  
研究所事務長       議案説明資料により説明〕

ガラス美術館次長   〔議案第１号中  
富山市ガラス美術館展覧会開催事業について、  
議案説明資料により説明〕

分科会長           これより、質疑に入ります。  
質疑は議案説明資料の順に進めたいと思います。  
まず、議案説明資料１ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長           次に、議案説明資料２ページについて質疑はありませんか。

柞山委員           有給インターンシップ事業について、受入れ人数が５名程度で、８月中下旬に３週間程度実施するとあります。これは有給ですけれども、時給というか、どれぐらいの給与を計画しておられるのかお伺いします。

- 職員課長      今回の有給インターンシップ事業につきましては、参加者を本市の会計年度任用職員として採用することにより報酬の支給を可能とするものでございます。このため、報酬につきましては、本市の会計年度任用職員の一般事務補助職員の1年目の単価である時給1,026円で考えております。
- 東委員          本市において、技術職員がなかなか集まらない中、この事業を通して何とか技術職員を集めようという積極的な取組だと評価をしております。ただ、受入れ人数が5名程度で、実施時期も8月中下旬に3週間程度と大変時間が限られている中で、どのようにPRしていく予定なのかお伺いします。
- 職員課長      新規事業ですので、まずは多くの学生にこの事業に興味や関心を持ってもらえるように、学生や大学に対する丁寧な説明や周知が必要であると考えております。本年4月早々にも県内や近県にある大学のキャリアセンターへ直接訪問することはもとより、インターネット上の学生向け就職支援情報サイトを活用するなど、広く情報を発信しながら当該事業への学生の参加を促してまいりたいと考えております。
- 東委員          ここでしっかりと参加者を募集し学生を集めることが、来年度の新たな技術職員の採用につながっていくと思いますので、しっかりとPRをして希望者が集まるように努力をしていただきたいと思います。
- 鋪田委員      民間との競合や、自治体間での人材の取り合いといえますか奪い合いをしている中で、受入れ人数を5名程度とした根拠についてお答えください。
- 職員課長      例年、月曜日から金曜日までの5日間程度、無給で参加していただくインターンシップ事業を開催しております。その事業に参加していただいた方の中で技術系の分野を学ぶ学生が5名程度だったということや、今回

は新規事業ということもあり、受入れ人数を5名程度とし、予算を計上させていただいたものでございます。

柞山委員      このような事業を行い最終的には採用につなげなくてはいけないのですけれども、実際に、どのように採用につなげていくのか、何か具体的な取組があるのであれば、お聞かせください。

職員課長      本市では、採用困難職種である土木や建築の技術職員の募集に当たりまして、職員採用セミナーや技術系大学の就職を支援するキャリアセンターを直接訪問し情報交換をするなど、これまでも積極的な広報活動に取り組んでまいりました。

この取組の中で聞こえてきた声から、技術系公務員の職務内容に関する学生の認識不足というものを感じております。新規採用職員からも話を聞いた際に、身内に公務員がいる場合は職務内容をイメージしやすいのですが、いない場合は、市役所に自分たちが活躍する場があることすらよく分かっていないというような声がありました。

この有給インターンシップ事業については、参加する学生が本市の一職員として業務に従事することで、技術職員の担う役割などの重要性を理解してもらうという目的がございます。その結果として、学生の意識が変わって、一人でも多くの優秀な学生が本市の採用試験を受験されることを期待しているところであります。

また、対象者につきましては、大学3年生はもちろん、就職先を本格的に検討し始める大学1年生、2年生にも参加を促してまいりたいと考えております。大学1年生、2年生については、来年度の募集には直接結びつかないかもしれませんが、将来的な採用に地道につなげてまいりたいと考えております。

分科会長      このページでほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料３ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料４ページについて質疑はありますか。

飯山委員 参加人数の目標はありますか。

企画調整課長 移住体験ツアーにつきましては５組１０名程度、移住セミナーにつきましては１０組２０名程度を想定しております。

飯山委員 どれくらいの期間を予定しておられるのですか。

企画調整課長 移住体験ツアーは、１泊２日を考えております。

東委員 この移住体験ツアーでは、中山間地の地域住民宅でホームステイをすることによる住まいの体験を行うとのこと。まだ想定でありますけれども、来年度に行う事業ですので、地域住民宅への打診などが必要だと思うのですが、大体どのあたりを想定しておられるのでしょうか。

企画調整課長 ホームステイ先の候補として大沢野地域、細入地域、八尾地域を考えております。中山間地の幾つかの住民宅に打診したところ、割と前向きなお言葉をいただいておりますので、また参加者の希望などを聞きながら決定していきたいと考えております。

東委員 串と団子という政策がある一方で、中山間地では過疎化により集落そのものがなくなっていくという危機感もあります。ぜひともこの事業を成功させて、本市に住みたいという人を増やしていただきたいと思います。

松尾委員 東委員と同様、本当に大事な取組だと思っています。

移住セミナーや移住体験ツアーについて、いろいろな想定をされているのだということを理解しました。先ほども参加者の希望を聞きながら進めていきたいと言われましたが、まさにそのとおりだと思います。希望者に対するマッチングといいますか、ツアーやセミナーに参加される方がどのようなことを思っているのか、まずは参加者の思いをつかむことがすごく大事なのだと思うのですけれども、その点についてもう少し詳しくお聞かせいただけますか。

企画調整課長 移住体験ツアーにつきましては、（３）事業内容の  
アに記載しております移住セミナーで内容をお示し  
し、参加者の募集をさせていただこうと考えており  
ます。その中で、あまりにも現実的に無理がある行  
程はお断りしなければいけない場合もあるかと思  
いますけれども、できるだけ参加者のニーズに沿っ  
た形で行程を組みたいと考えております。

松尾委員 他都市でも同じような取組をされて移住者の取り合  
いになっておりますが、ある自治体では市長も参加  
されて、この市は移住者の受入れに本気で取り組ん  
でいることが分かったという声を聞いたことがある  
ので、そのようなこともしっかり検討していただき  
たいと思います。  
また、その後が非常に大事で、富山市公式ＬＩＮＥ  
等により役立つ情報を継続的に配信するとのことで  
すけれども、恐らくその人の希望に合わせた形で、  
ＬＩＮＥで一辺倒に配信することにはならないのだ  
ろうと思います。その後の関係に関して、どのよう  
に想定されているのかお聞かせください。

企画調整課長 個々に情報を送ることはできないと思うのですけれ  
ども、ＬＩＮＥを登録していただきましたら、移住  
に関する支援策に加えて、セミナーの案内や空  
き家情報を配信したいと現在考えております。また、  
時には富山の風景などを配信することで富山市を印  
象づけるなど、富山市に住みたいと思っていただ  
けるようなものを発信していきたいと考えております。

松尾委員 最終的には相談体制が本当に大事だと思いますので、先々のことも考えた上で体制を整えて、ぜひ頑張っていたきたいと思います。期待しておりますので、よろしくお願いします。

鋪田委員 (3) 事業内容の米印に、ツアー経費の一部は参加者の負担とすると書いてあります。ということは、真剣に移住を考えている方を対象にした事業だと思うのですが、他の自治体の同事業との競合もあると思います。負担額などについては、現時点でどれぐらいを想定しておられますか。

企画調整課長 現時点では、1人5,000円程度を想定しております。

鋪田委員 意外と負担が少ないと感じました。これについてはまた他の実施プログラムと併せて検討していただければいいかと思います。  
松尾委員もおっしゃいましたが、富山市への移住を真剣に考えていらっしゃる方に、市がどう真剣に応えるのかが重要だと思います。一方で、昨今、地方移住をめぐるトラブルについて聞くことがありますが、その辺のケアについて、現時点で何かお考えになっていることはございますでしょうか。

企画調整課長 移住後のケアということでしょうか。

鋪田委員 移住後のケアではなくて、参加者がいろいろな心配事を抱えていることもあると思うので、移住セミナーや移住体験ツアーの中で、そのような心配を払拭するような仕掛けというか、理解していただける仕組みは現時点で何かお考えでしょうか。

企画調整課長 セミナーに参加された方にどのようなことを不安に思っておられるのかお聞きするなどしまして、それにお答えするような形で進めていくしかないかと思っています。

- 企画管理部長 補足させていただきます。  
本市には、ＵターンやＩターン、Ｊターンなどで山田地域や八尾地域などに移住されている方々がもう既にいらっしゃいます。  
もちろん地域おこし協力隊員の方もそうでありまして、移住するに当たり様々な経験をしていらっしゃいますので、これから移住を考えている方にとって非常に有益な情報をたくさんお持ちだと思います。そのような方にも参加いただきアドバイスをいただけるような懇談会についても企画していきたいと考えております。  
本市では、県外からの移住に関する窓口を令和４年４月に企画調整課に設置し、これまでも山田地域や細入地域に既に移住された方々との意見交換会も重ねてまいりましたので、ネットワークもある程度構築できたと考えております。今後も、既に移住された方々にも御協力いただいて、これから移住される方々に対しての必要なアドバイスをいただきたいと考えております。
- 分科会長 次に、議案説明資料５ページについて質疑はありませんか。
- 東委員 （３）主な事業内容のＡにＳＤＧｓ普及展開事業業務委託として１，６００万円計上されており、３つの事業が掲載されています。この事業の具体的な内容と、それぞれの予算額についてお聞かせください。
- 企画調整課長 主な事業内容として３つ挙げておりますので、順番に申し上げます。  
まずＳＤＧｓウィークの開催については、富山市としてこれまでも進めてきているところですが、ＳＤＧｓウィークとして期間を１週間設け、著名人を呼んでＳＤＧｓに関するフォーラムなどのイベントを実施する取組です。このＳＤＧｓウィークにかかる経費として約６００万円を計上しております。  
次に、ＳＤＧｓ推進コミュニケーター養成講座の開催については、職場や地域で実際にＳＤＧｓを広め

ていただく方を養成する講座の費用としまして約１００万円を計上しております。

次に、新しくボードゲームを開発する経費としまして約５００万円を計上しております。

あと、記載はございませんが、ＳＤＧｓに関するサポーター企業の先進的な取組やその企業への視察、ビジネスマッチングなどを行う中小企業向けＳＤＧｓ先進企業ミートアップツアーに約１５０万円を計上しております。

あとは、若い世代、ユース世代の方々にＳＤＧｓを理解してもらうためのアクションミーティングを開催する費用として約１００万円を計上しております。最後に、新聞等を活用した情報発信費用に約１００万円を計上しており、合わせて１，６００万円でございます。

東委員                    ＳＤＧｓ推進コミュニケーター養成講座について、具体的にどのような講座内容で、どのような方が講師になるのか、もう少し詳しく説明をお願いします。

企画調整課長        ＳＤＧｓ推進コミュニケーター養成講座につきましては、民間企業から講師をお呼びし、まず、座学でＳＤＧｓの基礎知識を学んでいただきます。そして、個人の様々な視点で、どのような課題があって、どのような整理ができるのかを考えていただきます。その後、グループに分かれまして、今後どのようなことができるのか考えていただくことになります。講座が終わった後に、約２か月間、実際に自分がどのようなＳＤＧｓの活動をしたのかレポートを提出していただき、市のほうで確認して認定させていただくというような流れになります。

東委員                    分かりました。  
次に、ボードゲームの内容と対象者について、もう少し詳しくお聞かせください。

企画調整課長        このボードゲームはカードゲームでございまして、小学生から大人までの多様な世代がＳＤＧｓについ

て理解することができるものになっております。  
カードの作成に当たりましては、基本となるゲームに富山市のオリジナル版として、例えばライトレールやますずし、また最近は地震もございましたので、呉羽山の大地震など、身近に感じられるカードを新たに作りまして反映させたいと考えております。  
具体的なカードの内容につきましては、今後、学生や企業からの参加を募って開催するワークショップで検討したいと考えております。

東委員 親子でゲームをしながら、SDGsに興味を持っていただくという新たな取組ですので、完成を心待ちにしております。

分科会長 次に、議案説明資料６ページ、７ページについて質疑はありませんか。

東委員 （３）主な事業内容のアの②首都圏ダイレクトプロモーション事業では、デジタルサイネージを首都圏のＪＲ主要駅に約２００面掲載するとのことですが、主要駅名とその駅の設置面数についてお伺いします。

広報課長 首都圏におけるＪＲの主要駅として、主に東京駅、新宿駅、品川駅などの乗降者数の多い駅を想定しておりますが、設置面数につきましては、駅によって異なっております。この内容につきましては、ＪＲの広告プランを参考にして計上しておりますが、実際の掲出駅や設置面の数については駅の改修工事等で変更になることがあると伺っておりますが、現時点では、今申し上げた東京駅、新宿駅、品川駅のほか、横浜駅などの十数駅を予定しております。

東委員 東京駅、新宿駅、品川駅などの乗降客が多い駅を中心に掲載されるので効果が期待されますが、これを見られた方々が富山市にどのような関心を持ったのかについても大変重要になるので、またその後のアンケート調査というか動向調査も併せてしっかりと進めていただきたいと思います。

柞山委員      ディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス開催支援事業に２，０００万円計上されています。新規事業でありますけれども、地方都市での開催は初めてということで、大変期待をしております。これまで東京都、大阪府の大都市で開催されて、どのような反響があったのか、また、富山市ではどれぐらいの規模で開催するのかお伺いします。

広報課長      東京都、大阪府の大都市圏と来場者数は当然違うと思うのですが、イベントの内容は同じだと思います。本年１月１２日に主催者側から富山市で開催するというプレスリリースが出ているのですが、展示内容については今のところ調整中となっております。

このディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンスは、会場内の壁面にディズニーアニメーションの動画を投影しまして、映像の中にいるかのような没入感を体験できるイベントとなっております。東京会場、大阪会場では、そのほかに親子で楽しめるお絵かきスポットや、複数の人気映画、作品のフォトスポット、オリジナルグッズが販売される物販コーナーなどがあり、ディズニーファンはもちろん、大人も子どもも楽しめるような全天候型のイベントだったと伺っております。内容はまだ公式には発表されておりませんが、東京会場、大阪会場の例を見ると、このような内容となっております。

柞山委員      開催期間が本年７月２０日から１０月６日までとかなり長期間で、多くの来場者を期待しておりますけれども、会場の警備などは主催者がされるということでしょうか。

広報課長      主催者側のほうで行うことになっております。

赤星委員      事業費として２，０００万円が計上されておりますが、このイベント自体の事業費は全体で幾らでしょうか。また、その金額に対して市から２，０００万円を支出するということは、補助金になるのでしょうか。

うか。どのような基準に基づいて支出されるのでしょうか。

広報課長

想定来場者数は10万人程度と伺っております。全体経費が実際に幾らかかるのかは伺っていないのですが、県と市で本事業を支援するために補助金として支出します。金額につきましては、市や県への多数の誘客を伴う事業を開催するための経費に加えて、SNSを活用した市や県の魅力向上に資するようなキャンペーンの開催、県、市のプロモーションや交流人口の増加に寄与する取組に必要な経費として主催者側から提示された金額で、市が支援相当額とした金額となっております。

こちらにつきましては、富山市補助金等交付規則に基づき取り扱うことになっておりますが、本事業につきましては、県と協調して支援することとしておりますので、今後につきましても県と連絡を取りながら手続を進めてまいりたいと考えております。

企画管理部長

補足させていただきます。

この事業には、今ほど広報課長が説明したとおり補助金として支出します。このイベントでは実行委員会が形成されているのですが、富山市はこの組織には入っておりません。富山県も同じような対応をされるということで、マスメディアが中心となって主催されるということでもあります。

以前、東京ガールズコレクションという大きなイベントを富山市総合体育館で開催したことがありました。このときは、富山県も富山市も実行委員会に加わりまして全体の事業費や事業内容などについても意見を出す機会がございましたが、今回は行政側は実行委員会に一切関与しておりません。ただ、大きな事業効果や、ちょうど夏休み期間中で集客効果があるということから、今ほど申しましたように、財政を支援する必要があると判断をして、主催者側の要望等にもありましたが、県は3,000万円、富山市は2,000万円を補助するものであります。イベントに係る全体の事業費についての詳しい資料

は今のところございませんけれども、予算執行の段階ではきちんとそのような資料もつけて申請していただくことになろうかと考えております。

赤星委員      このイベントでは入場料を取りますか。

広報課長      金額につきましてはまだオープンになっておりませんが、入場料はございます。

赤星委員      開催期間が長いことや来場者数10万人を想定して入場料を取るということで、主催者側にかなりのもうけといいますか利潤が上がるようなイベントだと思えます。全体の事業費が幾らか分からないのに、主催者側の要求に基づいて県が3,000万円、市が2,000万円を補助金として出すことにちょっと疑問を感じております。予算執行段階では資料をきちんと出していただくということですが、それはいつはっきり分かるのでしょうか。

広報課長      この予算が可決されましたら、新年度に申請に基づき補助金を交付することになります。その段階で、当然事業計画や予算額などが書類として添付されると思いますので、それを確認して補助金交付要綱に基づき執行する形になります。

赤星委員      提出された書類を見た上で、例えば今回の2,000万円の予算額が増減するようなことはあるのでしょうか。

広報課長      予算より多くなることはないかと思いますが、新年度に入ってから手続に沿って進めていくということになります。

赤星委員      補助金の支出について、今後の予算決算委員会総務文教分科会や総務文教委員会などで報告される予定はございますか。

広報課長      補助金の交付については、必要があれば報告するこ

ともありますが、全ての補助金について分科会等で報告しておりませんので、ほかの経費とのバランスを見ながらということになってくるかと思います。

赤星委員 全ての補助金について報告されないのは当然ですけれども、東京や大阪に次いで3都市目の大変大規模なイベントでもありますし、当初予算の段階で事業費があまりはっきりしてないというのはちょっと気持ちがよくないのです。ですから、機会を設けてぜひ報告いただければと思います。

鋪田委員 オ、とやまイメージアップ事業についてお伺いします。

アの②首都圏ダイレクトプロモーション事業ではJRの広告媒体を使いますが、本事業はANAグループとの連携になります。

地域づくりマネージャーを常駐派遣していただいておりますが、コロナ禍では、空路が大変厳しい状態だったと思うのです。地域づくりマネージャーとして十分活躍いただけたのか、ちょっとその辺が分からないので、コロナ禍で課題があって十分発揮できなかったこともあるかもしれませんが、この事業を進めるに当たって、これまでの成果や今後発揮したいというものがあればお聞かせください。

広報課長 地域づくりマネージャーの活動と評価について、本定例会の一般質問で高田 重信議員の質問にもお答えしましたが、平成26年4月以降、協定に基づいて歴代5名の方が地域づくりマネージャーとして派遣されております。

いずれも現役のキャビンアテンダントで、国内外の都市を回り経験と知見をお持ちの方です。コロナ禍では実際に人と接触できなくても、現地に行くなどしていろいろなものを発見して、ブログや派遣されている方はnoteで発信をしたり、AMAZING TRIPという小冊子を作成されたり、動画などで積極的に本市の魅力を紹介する取組をされています。

また、コロナ禍が明けた後、首都圏でイベントを行っておりまして、令和５年度には延べ５，０００の方が来場されました。アンケートに御協力いただいた来場者のうち、９３％くらいの方が富山市の印象がよくなったとか、９５％以上の方が富山市に行きたくなったりと非常に評判のいい回答をいただいております。本市では地域づくりマネージャーを通して、ＡＮＡとタイアップしていろいろな事業を行っているのですが、同グループが有する企業のイメージやブランド力を使って本市のイメージの向上に大いに寄与しているものと考えております。

鋪田委員

一般質問の答弁以外にも、動画やブログで本市の魅力を紹介するなどの活躍をされていることがよく分かりました。

ＡＮＡグループ、ＪＲグループなどはいろいろなネットワークを持っていますので、それらの使い分けは今後必要になっていくのだろうとも感じるころであります。

次に、力、若者向けプロモーション事業についてお伺いします。「市立探偵ペロリッチ」についてですが、映画館に行くと必ず出てきますし、「とやま市議会だより」にもキャラクターとして積極的に登場させている一方で、これは主観的な意見ですが、これも「広報とやま」にあまり登場がなかったように思います。キャラクターそのものの認知度は非常に高いのですが、富山市の公式キャラクターとしてのリンクがまだ浅いような気がします。

この若者向けプロモーション事業については、その辺も十分配慮していく必要があると思うのですが、どのような認識を持ち、取組を考えていらっしゃいますか。

広報課長

「市立探偵ペロリッチ」は、平成２７年度から本市のオリジナルキャラクターとして、最初はショートムービーを中心に本市の魅力を発信してきました。最近では認知度が上がってきておりまして、市民の５割くらいの方は御存じで、ペロリッチの公式×（

旧ツイッター)のフォロワー数につきましても4万6,000人と、多くの方がフォローしていらっしゃいます。

今後も引き続きウェブ動画やSNS投稿で使っていくほか、市が作成するチラシや冊子の写真にも積極的に取り入れていきたいと考えております。

また、実はペロリッチの着ぐるみもありまして、本年3月16日の北陸新幹線の金沢・敦賀間開業イベントでも他都市のキャラクターと一緒にPRを行いました。今後も市の取り組む各種施策やイベント等のPRに積極的に使っていきたいと考えております。

鋪田委員

フォロワーが4万6,000人ということで、キャラクターとして非常に有名になって、認知度も高くなってきたのですが、私が申し上げたかったことは、市のキャラクターとしての魅力がまだ足りていないのではないかという感覚があります。例えば、熊本県のくまモンは公務員という設定があるので、そのような工夫もぜひ検討していただくと一層効果が上がるかもしれません。また、以前富山市でもサンリオのハローキティでプロモーションをしていらっしゃいましたけれども、例えば、先ほどディズニーの話が出ましたから申し上げますと、ディズニーのあるキャラクターと年間契約しコラボするなど、富山市のオリジナルキャラクターとしてのリンクをもっと深めていただきたいという意味で質問をしたので、付け加えさせていただきます。

広報課長

確かにおっしゃるとおりであります。ちなみにペロリッチは市立探偵ということで、富山市探偵課に所属しているという背景があるのですけれども、そのようなことも今後、当課で認知に努めてまいりたいと考えております。

赤星委員

オのとやまイメージアップ事業に戻りますが、事業費が2,000万円余りで、事業が3つありますが、それぞれの金額の内訳をお伺いします。

- 広報課長      こちらは3つの事業を合わせて2,000万円余りで、どの事業が幾らという内訳はありません。首都圏プロモーションイベントにつきましては、先ほど申し上げた首都圏でのイベントにかかる経費となっております。
- 赤星委員      何年か前までは内訳が分かっていたと思います。C Aの方を地域づくりマネージャーとして富山市に常駐派遣され、その人件費で年間約1,000万円ほどだったと思うのですが、何年か前から突然分からなくなっていました。これはきちっと分けて教えてほしいと思います。
- 広報課長      以前は地域づくりマネージャーとそのほかのイベントで、同じANAグループでも契約の委託先が違っていたのですが、2022年4月1日にANAあきんど株式会社として一本化されましたので、令和5年度から一括契約となっております。
- 赤星委員      本当は事業ごとに分かったほうがいいと思います。次に、エのシビックプライド醸成事業は予算額1,400万円余りで「AMAZING TOYAMA」をキーワードとし、シビックプライドを醸成するための各種取組を実施するということで、2つ目に市民の写真等を活用したポスターの制作及び掲出とありますが、これはこれまでも行っている写真部のポスター掲出のことでしょうか。
- 広報課長      そのとおりでございます。
- 赤星委員      このポスター掲出というのは、まちの中にあるアヴィレの会社のポスターパネルでしょうか。
- 広報課長      それもありますし、バス停や地区センターなどいろいろなところに掲出しております。今は市役所本庁舎の展望台にもございます。また、首都圏でイベントがあったときにポスターをイーゼルにかけて並べて、富山市にはいいところがあるということを視覚

的にPRしております。

赤星委員 関連して、当初予算で広報課からシクロシティ株式会社へ支払う広告料は幾らになりますか。

広報課長 まず、議案説明資料6ページ、7ページの(3)主な事業内容は、あくまで予算額8,300万円余りのうちの新規事業を中心に記載しているので、アからカの中には記載してないのですけれども、この8,300万円余りの中にシクロシティ株式会社への広告料が入っています。

赤星委員 議案説明資料を見るだけでは分からないのですね。

広報課長 議案説明資料では詳しくは分かりません。

赤星委員 そうしたら、令和6年度予算に関する説明書の中で幾らになっているのか教えていただけますか。

広報課長 議案説明資料でお示ししました8,300万円余りのうち、シクロシティ株式会社の広告パネルに関する予算額につきましては960万円余りとなっております。

赤星委員 広報課の予算は毎年、年間それぐらいだったと思うのですけれども、この金額がシクロシティ株式会社に関する全ての予算でしょうか。

広報課長 シクロシティ株式会社に関する広報課分の予算としては全てです。

分科会長 次に、議案説明資料8ページ、9ページについて質疑はありませんか。

柞山委員 令和5年度の予算額についてお伺いします。

スマートシティ  
推進課長 合計額は1,733万円であり、(3)事業内容の  
アのSketch Labの運営費については1,

233万円、イのとやま未来共創会議については500万円です。

柞山委員 令和5年度の実績を踏まえて、今年度の目標という  
か狙いについてお伺いします。

スマートシティ  
推進課長 令和5年度の利用実績については、令和6年2月末  
までですが、109回のプログラムを実施しており、  
前年度の68回を上回っております。利用者数も3,  
394人と、11か月で令和4年度全体を上回って  
おります。  
令和6年度の目標については、このようなプログラ  
ムを実施することで利用者を増やすことはもちろ  
んですけれども、議案説明資料9ページに記載して  
おります新たな取組として、リビングラボを法人会  
員向けに実施いたします。  
法人会員によるオープンイノベーションの取組を推  
進することで、これを担う人材の育成も実施して  
いくのですけれども、このような取組がスマートシ  
ティ関連サービスの創出につながっていくことを考  
えております。

東委員 未来共創推進事業は拡充となっていますが、これ  
まで進めてきて、産学官民それぞれからいろいろな  
評価や要望、意見が寄せられていると思うのです  
けれども、どのように生かされているのでしょうか。

スマートシティ  
推進課長 まず、施設利用の観点から、ウォーターサーバーを  
設置してほしいという要望がありましたので、令和  
4年度に設置しました。また、起業関係の書籍を  
拡充してほしいという要望がありましたので、予算  
の範囲内で少しずつ拡充しております。  
次に、プログラムにつきましては、その都度見直  
しを図っております。例えば昨日、スケッチオー  
デションを実施したのですけれども、こちらは仲  
間と支え学び合うビジネスコンクールをキャッ  
チコピーとし、半年間にわたって81名の参加  
者がビジネスプランを練るというプログラムで、  
今年度で4回目の

実施となりました。参加者が81名もおられると知識レベルに差がありますので、レベルをある程度合わせるために、インプットといいまして座学を開いているのですけれども、座学をやり過ぎるとコミュニティが活性化されないという要望を受けまして、今年度は座学をオンラインに見直すことでコミュニティが活性化されるような仕掛けもプログラム改善として進めておりました。

東委員 皆さんの意見を聞いて、いろいろと改良しているということですが、これまでの成果や内容について、もっと市民に対して見える化をしていくことが必要だと思うのです。その見える化について、今まで行ってきたこと、あるいはこれから行っていくと考えていることをお聞かせください。

スマートシティ  
推進課長 スケッチオーデションをきっかけに起業するような事例も出てきているのですけれども、そのような起業家はスケッチオーデションに限らず、様々なところで様々な人たちとつながって起業しているという側面もありまして、なかなかSketch Labから輩出したとはいえない部分もあります。とやま未来共創会議のプロジェクトのように、明らかにそのプログラムから生まれたものについては、イベントをPRするチラシで紹介したり、あとは今月末に新たな会員獲得に向けたスペシャルミートアップというイベントを実施するのですけれども、そのような場で、そのプログラムによって立ち上がったプロジェクトを実施しているような方々をお呼びして事例を発表していただいたり、様々な機会を活用してPRしているところでございます。

東委員 せっかくSketch Labを起点に進めているので、もっと市民にアピールすることによって認知度を高め、新たなビジネスが生まれる拠点になるようにまた頑張っていただきたいと思います。

松尾委員 (3) 事業内容のア、スケッチラボの運営とイ、と

やま未来共創会議の開催についてはこれまでも進めてこられたことだと思うのですが、今、富山市スマートシティ推進プラットフォームの会員企業を非常に多く募っておられるということで、議案説明資料９ページの図のうち、とやま未来共創会議と富山市スマートシティプラットフォームの参画企業の連携について、もう少し分かりやすく説明していただけないか。

スマートシティ  
推 進 課 長 富山市スマートシティ推進プラットフォームには３種類の会員区分がありまして、市とパートナーのように事業をつくっていく共創会員が２５社あり、Sketch Labで法人会員として登録していただいております。  
共創会員の企業がオープンイノベーションとして、いわゆるリビングラボと言われる手法を実施する際に、私たちとしてもいろいろと支援していくような形でございます。昨年１１月１３日にプラットフォームを設立したのですが、それ以降も共創会員の企業が主体となってSketch Labを舞台にリビングラボというものを７件立ち上げておられまして、そこに市としても様々な形で協力しているという格好になっております。

松尾委員 リビングラボで頑張ってください企業がこれからもまだまだ増えていくことが予想されるということでよろしいのでしょうか。

スマートシティ  
推 進 課 長 私たちとしても、たくさんの企業がつながっていただくことで、市民の困り事や地域課題の解決に資するようなサービスに直接つながると思っていますので、会員獲得に向けて汗をかいていきたいと思っています。

分科会長 次に、議案説明資料１０ページについて質疑はありませんか。

赤星委員 センサーネットワーク利活用促進事業について、予

算額が１億１，１３３万５，０００円で、内訳として民間通信事業者が提供する通信網に切り替えるために６，４００万円余り、現行システムの維持管理に係る保守業務などの実施に４，７３１万５，０００円とあります。

導入のときに確か３億円ぐらいかかった記憶があるのですけれども、これまでこのセンサーネットワークには通算でどれぐらいの予算がかけられてきたのか教えていただけますか。

スマートシティ  
推 進 課 長 初年度に整備費といたしまして２億４，１００万円余り、その後は運用に関する経費として３，０００万円余りを計上しております。

赤星委員 運用に毎年３，０００万円ほど計上しているのですか。

スマートシティ  
推 進 課 長 はい、３，０００万円ほどです。

赤星委員 何年間でしょうか。

スマートシティ  
推 進 課 長 運用に係る経費について、初年度である平成３０年度は途中から実施しておりますので、丸々３，０００万円かかっているのは令和元年度から５か年です。

赤星委員 センサーネットワークの運用に４，７３１万円余り計上されておりますが、今回予算額が大変大きくなっている理由は何でしょうか。

スマートシティ  
推 進 課 長 まず１つには、センサーネットワークを構築する要素にネットワークサーバーというものがございまして、そのＯＳに無償のＣｅｎｔＯＳを利用していたのですが、有料化されたことがございます。また、そのほか保守単価の増加に伴うものがございます。

赤星委員 アのセンサーネットワークの更新により、毎年どの

ぐらいの金額がかかるのでしょうか。

スマートシティ  
推進課長 更新に当たり、今まで自前で持っていたデータ連携基盤を県のデータ連携基盤に移行することでコストダウンを図りますので、おおよそ３００万円から４００万円減少することになります。

赤星委員 （２）事業目的に、地域課題の解決や新たなサービスを創出するとありますけれども、これまでの具体例について改めて御紹介いただけますか。

スマートシティ  
推進課長 この事業では大きく分けて３つの事業を行っております。

まず、子どもを見守る地域連携事業で、小学生にＧＰＳセンサーを持たせて登下校路の実態把握を行うものです。こちらは、全市立小学校で実施し、富山大学と分析をして見える化しております。ステークホルダーの方々に紹介しております。その結果、登下校路の変更や、こども１１０番の家の変更に使われております。

２番目に、民間企業向けの実証実験公募事業を実施しております。こちらでは、延べ８１件の応募がありまして、事後にアンケート調査を実施し、概ね７割の企業から実証実験の結果が得られたという返答がありました。また、そのうち４社ぐらいは実際に実装しサービスを提供していらっしゃるという声をお聞きしております。

３番目は、消雪装置の遠隔監視装置や水位の把握に活用しております。消雪装置の遠隔監視については、これまでは消雪ポンプが出ないと市民から通報を受けて訪問していたものが、どのような状況で出なくなったのかが庁舎にしながら分かりますので、より迅速な対応が可能になったと思っております。

分科会長 次に、議案説明資料１１ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 富山市スマートシティ推進プラットフォームの会員

について、事業活動をされている富山市内の企業なのか、県内の企業なのか、もっとグローバルな企業なのか、その構成についてお聞かせください。

スマートシティ  
推 進 課 長 富山市スマートシティ推進プラットフォームについては、現在１５５の企業・団体に登録していただいております。共創会員が２５、スタートアップ会員が５８、一般会員が７２となっており、市内外から数多く参画いただいております。  
また、富山県内の企業・団体が７１、東京都の企業・団体が５４となっておりまして、全体の約８割を占めております。

鋪田委員 どのような構成比が正しいのか分かりませんが、今年度の委員会視察で東広島市を視察したときも、グローバルに展開できる技術力やネットワークなどを持っている企業があったので、ぜひこの辺は今後注視していきたいと思っています。  
先ほどの未来共創推進事業で、いろいろな立ち上げが始まったりという話もあったのですが、この中で、例えば、グローバルに展開している企業と、アイデアを持っているのだけれどもそれを実行する技術力がない県内の企業を結びつけるような成功例がもしあるようでしたら紹介いただけませんか。

スマートシティ  
推 進 課 長 始まったばかりの取組でして、今の段階ではこれといって成功事例というものはないのですが、基本的には、共創会員は富山市の企業と代理店で、スタートアップ会員はほとんどが東京の企業です。地域で顧客を持っていらっしゃり、地域に顔が利く企業と、最新の技術や知見を持っているスタートアップ企業が結びつくことで、今後、富山市に根差したサービス展開を目指していきたいと思っています。

分科会長 次に、議案説明資料１２ページについて質疑はありませんか。

東委員 （２）事業目的に、富山市スマートシティ推進ビジ

ョンに資する実証事業を支援することで、新たなスマートシティ関連サービスの創出を目指すと思います。進め方として、市の発展や利益にかなう関連サービスの内容について、どのような実証事業をしてほしいのか、本市のほうからもアプローチしていくことも必要ではないかと考えますが、考えをお聞かせください。

スマートシティ  
推 進 課 長      この事業は、富山市スマートシティ推進プラットフォームの会員向けに実施する事業で、会員には私たちが令和４年度に策定したビジョンを共有していただいております。  
ビジョンには、例えば子育てに関することなどの重点領域を３つ定めておりまして、これらを中心に様々な提案をいただければいいかと考えております。

東 委 員          本市の考え方をしっかりと共有しており、それを前提に提案いただくということですので、またいろいろと事業を進めていく中で、市の考え方も伝えて、お互いに実りのある事業にさせていただきたいと思います。

分科会長          次に、議案説明資料１３ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員          この事業のベースとなるものが富山のガラスですが、ガラスの街とやまが突然出てきたのではないということはこの事業を通して市民にしっかりと伝えていく必要があると思います。  
以前、コーニングのガラス美術展を見ましたが、工業用のガラス製品としてのガラスがベースにあって、しっかり展示もされていたので、来場された方や市民の方もこのことについては十分理解しているのだと思います。  
せっかくの機会ですので、この富山ガラス工房開設３０周年に合わせて、薬瓶や駅周辺に工場があったことなども紹介するような意味深い企画展にしてはいかがかと思うのですが、企画についてどのように

考えていらっしゃいますか。

文化国際課長    今回、富山ガラス工場の開設30周年ということで、これまで富山ガラスに関わってこられた作家さんなどを含めてガラスのまちづくりの歩みを振り返る部分もあるのですが、委員から御指摘いただきました富山ガラスの歴史なども含めながら、市民の皆さんにこれまでの取組を十分理解していただけるような内容にしたいと思っております。

鋪田委員        これは富山のガラスに関する全ての政策のベースになることだと思うのです。観光目的や地域おこしのようなことで急にガラス政策を始めたわけではないと認識して、これまで本市議会も支援をしてきましたので、その辺はしっかりと進めていただきたいと思います。

分科会長        次に、議案説明資料14ページについて質疑はありますか。

赤星委員        （3）事業内容のアの①にTOYAMAキラリ1階及び2階の遊休スペースを活用とあります。TOYAMAキラリは再開発ビルですが、1階及び2階は市の所有なのか、あるいは別の所有者がいて家賃を払ってお借りするのか、お聞かせください。

文化国際課長    このTo y a m a   G l a s s まちなかショールーム事業につきましては、TOYAMAキラリの中でも特に図書館、ガラス美術館にいらっしゃるお客様に御覧いただきたいと思いますところですが、具体的な想定はまだしておりませんが、2階のカフェ小馬の前にイートインスペースがございまして、こちらについては市の所有ですので、ショーケースなどを置かせていただきたいと思いますところでございます。

赤星委員        1階についてはどうですか。

文化国際課長 1 階につきましては、受付などがあるスペースで設置が可能かどうかこれから検討するところでございます。

分科会長 次に、議案説明資料 1 5 ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料 1 6 ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 去年までは同様のイベントで、G E K I - F E S というテーマ性を持ったイベントがあったのですが、この事業は G E K I - F E S と直接関係があるのでしょうか。  
また、今回の音楽祭のテーマのようなものがもしあればお聞かせください。

文化国際課長 G E K I - F E S は、正式にはとやまちなかグループ G E K I - F E S といまして、北日本新聞社や北日本放送、富山市などで組織いたします実行委員会で運営し、令和 5 年 1 0 月 2 8 日と 2 9 日の 2 日間にわたって、富山駅やオーバード・ホール中ホールなどで今年度初めて開催したものでございます。劇伴という誰もが知っているような映画やテレビドラマ、アニメなどの視覚作品に合わせて流される音楽をテーマとしまして、市内の学校の吹奏楽部や県内で活動するマーチングバンドなどの演奏やパレード、楽器の演奏体験やキッチンカーなどによる飲食を楽しめる複合的なイベントになっております。  
一方で、今回提案させていただいております（仮称）T O Y A M A まちなか音楽祭は、これまで富山駅周辺エリアや西町、総曲輪エリアなどで個々に開催されていたコンサートやイベントと連携し、それらを一定期間に集約して開催することで、市内電車などで会場を巡って楽しめるような周遊型の音楽イベントとして開催したいと考えております。

今ほどのG E K I - F E Sも含めまして、市内音楽団体のコンサートなども、（仮称）T O Y A M A まちなか音楽祭の連携事業として開催していくことを予定しているところであります。

鋪田委員

過去に開催したG E K I - F E Sなどを包括した周遊型の音楽イベントを予定しているとお伺いしました。

県内も含め全国津々浦々、いろいろな音楽関係のイベントがあると思うのですが、テーマ性が重要で、富山市らしいテーマは何かを考えるとところからスタートして話し合いながらつくり上げていくようなプロセスを経てもいいのではないかと考えております。その辺について何かお考えはありますか。

企画管理部長

金沢市では、2008年から開催されていたラ・フォル・ジュルネ金沢や、2017年から開催されていた風と緑の楽都音楽祭など、石川県音楽堂をはじめ市内の至るところがクラシック色に染まるようなコンサートなどをゴールデンウィーク期間中に開催されています。

今年からはガルガンチュア音楽祭にネーミングを変えて、クラシックに限らず、いろいろなアニメや映画のテーマ音楽など、幅広い年代層にも親しまれる音楽祭に変えていきたいと聞いております。

一方で、県内では、黒部市の宇奈月温泉街でモーツァルトの曲だけを演奏するというユニークな宇奈月モーツァルト音楽祭を2010年から毎年開催されております。

本市では、マスコミの方が主体となって富山城フェスや、おとめしなどのいろいろなイベントを令和4年度まで開催していましたが、令和5年度にG E K I - F E Sに集約し、富山市も実行委員会に加わりました。

今、とやままちなかグループ実行委員会に600万円の補助金を出しておりますけれども、今回提案させていただいている（仮称）T O Y A M A まちなか音楽祭は、創造性を発揮して事業を提案するための

部局主導裁量枠として５００万円の予算枠をいただいた中で考えたものであります。目指す方向は、金沢市や宇奈月温泉街で開催しているようなものに近いものを何かできないかということから、従来のＧＥＫＩ－ＦＥＳに加えて、今度は富山市が主体となって、オーバード・ホールの大・中ホールや、まちなかの環状線沿線、西町、総曲輪通り、中央通りの北陸銀行のポケットパークのイベント広場などで、桐朋学園や、プロ、アマチュア問わずいろいろな方が３日間程度、自由に音楽イベントを開催していただけるような事業を今回提案させていただいたものであります。

将来的には、民間主体のＧＥＫＩ－ＦＥＳと、富山市が開催するイベントを融合させた事業を展開していきたいと考えております。そのコンセプトまでは今のところまだしっかりしたものはございませんので、まちなかで市民の方が気軽に音楽を聞いたり、あるいは自らも演奏に加わったりするような活動を展開し、今後、歩きながら考えていきたいと思っております。

鋪田委員

作家やジャンルからテーマを追求していく進め方もあれば、今のように周遊型の音楽祭をキーワードとする進め方が１つのテーマになったり、参加する市民の階層が１つのテーマになったりすることもあると思います。

この事業は突然始まったものではなくて、これまで行ったものをいろいろ併せて進化してきたものだと思いますので、その辺をしっかりと注視し、ぜひいい事業に育てていただきたいと思います。

分科会長

次に、議案説明資料１７ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長

次に、議案説明資料１８ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料１９ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料２０ページについて質疑はありますか。

鋪田委員 令和７年度からバーナーワークを必修科目化するというので、国内で初めてだと伺ってちょっと驚きました。富山ガラス造形研究所は大学や専門学校を卒業してから最終的にここで学んでいかれる方もたくさんいらっしゃるって、非常にレベルの高いところだと思います。それでも、人材を奪い合うと言ったらおかしいのですけれども、そういった中で特色を出していく必要があるということで生まれた事業だと思います。

バーナーワークは海外でも非常に注目されているということですが、まだ漠然とした感じなので、バーナーワークの世界的な位置づけや国内の作家の状況など、もう少し具体的に教えていただければ、この技法が必修化されることについてより理解が深まると思うのですが、お答えいただけますでしょうか。

富山ガラス造形研究所  
主 任 教 授 バーナーワークは、先ほど説明しましたように、基本的には卓上バーナーでガラスを熔融し成形するものです。技法自体は、実は富山ガラス造形研究所の創設当初から選択授業として行っておりましたが、内容はこれから必修科目化するものとは異なります。以前は小さな卓上バーナーでいわゆるトンボ玉と呼ばれる小さなアクセサリーを精密に作ることが主流でしたが、徐々に酸素ガスを使いながら、高温で溶ける専用のガラスを溶かすことができるようになりまして、それが現在進めているバーナーワークの必修科目化の技法になります。

こちらに関しては、１０年ほど前から新しく技術開

発が進み、吹きガラスに相当するようかなり大型で一大型といっても卓上でできるものですが、一精密でありながら、ある程度アクセサリーを超えた範囲の制作もできるようになったことから非常に人気が出てきているところです。

富山ガラス造形研究所では、7年前にバーナーワークの選択授業で使用しているバーナーを小さなバーナーから酸素ガスのバーナーに変更しました。これは、技術的にもそうなのですが、卒業後に吹きガラスの溶解炉の設備を自分で持つことは、やはり資金的にハードルが高いのです。しかし、このバーナーワークは、溶解炉を持つよりも設備投資が少なく済むということと、制作するときのガス代を抑えられるということで、現在は卒業生を含めて非常に人気が高い分野になっております。

海外でいいますと、様々な学校のワークショップで、いろいろな技法の先生を呼んでサマースクールを実施するのですが、そのときに必ず1つはバーナーワークのクラスが設けられます。そうすることによって人がとてもよく集まるという、海外でも非常に人気が高い分野です。

富山ガラス造形研究所としては、今現在もバーナーワークを選択科目として教えてはいるのですが、ほかの学校に先駆けてこれを必修科目とすることで、ガラスを専門に教えるという本校の特徴の1つに大きく掲げたいとの思いから、必修科目化を進めているところでございます。

分科会長      次に、議案説明資料22ページから24ページについて質疑はありますか。

〔発言する者なし〕

分科会長      議案説明資料以外で、予算に関することで質疑はありますか。

赤星委員      先ほど広報課にもお伺いしましたが、市民文化事業団の予算について、毎年シクロシティ株式会社に広

告料を支払っておられますが、新年度予算は幾らでしょうか。

文化国際課長 市民文化事業団において、オーバード・ホール等で開催する公演の観客を増やすための広告掲載料につきましては、令和6年度は1,291万円余りでございます。

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中企画管理部所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

赤星委員 私は、議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算には賛成できません。  
シクロシティ株式会社に支払う広告掲出に係る費用について、利用が伸びない自転車市民共同利用システム「アヴィレ」の運営費用を支援する目的で、富山市とシクロシティ株式会社との間で契約が交わされており、この契約は令和21年まで続きますが、収支状況も確認できないフランス資本の企業と独占的に契約を交わしていることは異常です。先ほどガラス美術館分の新年度予算額を聞くのを忘れてしまったのですけれども、令和5年度までの支出額と新年度予算額の合計は2億円をはるかに超えております。また、市民文化事業団の分も合わせますと、通算で3億5,000万円ほどとなっております。  
市内には優れた広告事業者が多くいることや、ストリートミュージアムのガラス展示では維持管理として障害者の方々の仕事を生み出しており、ポスターの掲出方法については別の方法も考えられるはずです。フランス資本の企業であるシクロシティ株式会社に支払う予算をほかに有効活用してほしいと思います。  
改めて見直しを求めて、反対の意見表明といたします。

鋪田委員 賛成の立場から意見の表明をいたします。  
この広告については都市景観にも十分配慮されており、むしろ富山市のまちづくりの景観の1つとなっていることから、市民の方からも広く理解されているものだと思います。  
また、今ほど御紹介のあった様々な広告の掲出方法については、その掲出方法によって、特性や対象者がそれぞれ異なります。決して一方をやめてこちらの方法だけにするなどということではなくて、総合的に判断して、現在の掲出方法に問題はないと思いますし、支払いが通算で3億円を超えるというお話もありましたけれども、広告の掲出方法を伺いますと決して多額の費用だとは考えておりませんので、妥当な予算だと思います。

分科会長 ほかに意見の表明はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって意見の表明を終結いたします。  
以上で、総務文教分科会企画管理部所管分を終了いたします。  
審査の途中ですが、ここで暫時休憩いたします。

午後 0時27分 休憩

~~~~~

午後 2時25分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会防災危機管理部所管分の議案の審査を行います。
議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第2款総務費中、防災危機管理部所管分
を議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。

防災危機管理部長 〔挨拶〕

防災危機管理部次長 〔防災危機管理部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

防災危機管理課長 〔議案第１号中
自主防災組織育成事業について、
防災拠点機能充実強化事業について、
防災の手引き作成事業について、
災害対応職員の環境整備事業について、
民間企業等と連携した防災啓発事業について、
避難行動分析調査事業について、
議案説明資料により説明〕

生活安全交通課長 〔議案第１号中
安全なまちづくり推進事業について、
犯罪被害者等支援事業について、
交通安全啓発事業について、
議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑は議案説明資料の順に進めます。
まず、議案説明資料２ページについて質疑はありませんか。

柞山委員 自主防災組織育成事業について、（３）事業内容の
イ、防災士養成研修事業負担金とありますけれども、
今、市内にどれぐらいの防災士がおられるのでしょうか。
それぞれの校区にいらっしゃればありがたい
と思うのですが、同じ校区に何人もいたり、一人も
いない校区があったりすることを危惧しており、地
域で連携を取っていくにしても防災士の配置はやっ
ぱり必要なことだと思っています。
今回の能登半島地震が発災したときの防災士の役割
は大きく、多くの方が活動しておられればよかった
かと思いますが、そのような報告もあったのか詳細
には知り得ておりません。取りあえず、市全体で防
災士の配置というか位置づけが必要だと思いますが、
この事業についてどのように捉えているのかお伺い
いたします。

- 防災危機管理課長 市の取組として、これまでに養成してきた防災士の数は213人となっております。委員がおっしゃるとおり、各校区に最低1人は防災士がいる状態にしたいと考えておまして、現時点で27校区に養成した防災士が配置されています。
- また、防災士を養成するだけでなく、その方々との連携についても深めていきたいと考えております。
- 東委員 各校区に1人は防災士を配置したいと考えていて、現時点で27校区に配置されているということは、本市として必要な防災士の数は27人という捉え方なのでしょうか。
- 防災危機管理課長 目標として、各校区に1人ずつ配置される状態にしたいと考えております。
- 東委員 市として、災害から本市の安全を守っていくために、防災士は何人ぐらい必要だと考えていらっしゃるのでしょうか。
- 防災危機管理課長 目標として各校区1人ずつですので、80人程度と考えております。
- 防災危機管理部長 今、防災危機管理課長が説明いたしましたが、27校区といいましても、27校区のうち1校区に防災士が七、八人いる校区もありますので、27人しかないということではありません。
- 東委員 防災士をしっかりと養成していこうということですが、けれども、この防災士養成研修の受講費は具体的に幾らぐらいで、市として1人につき幾らぐらい負担しようと計画していらっしゃるのでしょうか。
- 防災危機管理課長 防災士の資格の取得には、富山県の場合は受講料、試験受験料、認証登録料を合わせて3万3,000円かかります。そのうち市の負担額が4,000円、本人負担額が8,000円、残りを県が負担することとなっております。

- 東委員 本人負担額が８，０００円になるということをごんごん周知していただいて、資格を取るよう促していただけたらと思います。
- 分科会長 次に、議案説明資料３ページについて質疑はありませんか。
- 飯山委員 （３）事業内容のア、備蓄食料及び飲料水整備に液体ミルクとあるのですけれども、ミルクを入れる哺乳瓶は準備されているのでしょうか。
- 防災危機管理課長 現時点では、まず備蓄食料そのものの備蓄を進めている段階でありまして、哺乳瓶の備蓄はございません。
- 飯山委員 災害は突然来て、赤ちゃんを抱えているお母さんは急いで逃げるので、液体ミルクがあれば助かると思うのですけれども、加えて哺乳瓶なども準備してあればいいと思うので、よろしくお願いします。
- 防災危機管理部長 哺乳瓶といいましても、赤ちゃんの月齢などによって違ってきますので、全て市で用意することはできないと思います。その辺は家庭内備蓄をお願いしたいということをご今後啓発していきたいと考えております。
- 東委員 本年１月１日の能登半島地震を受けて、いろいろな備蓄品を整備し、強化していこうということだと思います。（３）事業内容に備蓄食料及び飲料水、避難所用生活物資としていろいろな品目が書かれておりますが、それぞれの数量の根拠についてお伺いします。
- 防災危機管理課長 まず、この数量につきましては、今回の能登半島地震を受けて設定したものではなく、総合計画に基づいて計画的に実施してきたものであります。
（３）事業内容のアとイについては、いずれも呉羽山断層帯での地震の被害想定で、市が備蓄を進める

数量の基準として、１万２，９００人分を目標としております。

まず、アの備蓄食料及び飲料水については、既に目標数量を満たしておりますが、期限切れなどにより廃棄する分を調達して、目標数量を維持するための数量であります。

イの避難所用生活物資については、総合計画に基づき、令和１３年度までに目標数量を満たすことができるよう計画的に調達を進めているものであります。数量の根拠としましては、例えば簡易トイレについては、目標数量３，５００組を１０年間で均等に準備していくということから、概ね１０分の１である３４０組を整備するものであります。

東委員

呉羽山断層帯での地震を想定して１万２，９００人が避難するという明確な根拠を持って算出し、１０年間で準備する計画だということであります。この数量をしっかりと達成して、もし万が一、また大災害が起こったときに足りないなどということがあれば、その時点で数量の検討などをするということから、市民の安全のためによりしくお願いいたします。

柞山委員

今ほど答弁がありましたが、イの避難所用生活物資整備について、令和４年から令和１３年までの整備計画だとお聞きしました。例えば簡易トイレは目標数量が３，５００組で、今年度は３４０組整備するとのことですが、ほかの品目はどうですか。

防災危機管理課長

トイレ凝固剤については１９万４，０００個の目標に対して１０分の１である１万９，４００個です。紙おむつ（大人用）については２万枚が目標でありますので、その概ね１０分の１である２，０１６枚、紙おむつ（幼児用）については５，９００枚の目標に対して概ね１０分の１である６１６枚などとなっております。端数については、１箱に幾つ入っているのかで差異が出てくるものであります。

柞山委員

（２）事業目的に、防災拠点の機能充実、強化を図

るとあります。現在、この防災拠点というものは避難所と連携したものではなくて、そのエリア内の拠点ということだろうと思いますが、今後、地域性を鑑みて拠点数を増やす計画はないのでしょうか。

防災危機管理課長 必要品目の増加に伴い必要になってきた場合には、そのような拠点の拡大ということも必要になってくるかと考えております。

赤星委員 備蓄食料に保存用ビスコと保存用レトルトパンとありますが、パンだけですと、例えばお年寄りが飲み込みにくい、嚥下しにくいという問題もあるのではないかと思います。アルファ化米やおかゆなどのおコメも同時に備蓄する必要があるのではないのでしょうか。

防災危機管理課長 総合計画に基づいて、必要なものを計画的にそろえております。今回購入するものがこの2品目でありまして、そのほかにレトルト御飯なども備蓄しております。

赤星委員 そのほかに備蓄しているものは、量的にはどれくらいあるのでしょうか。

防災危機管理課長 例えば、今申し上げたレトルト御飯であれば、目標数量2万3,220食に対して備蓄数量5万5,850食などとなっております。

金岡委員 先ほど、呉羽山断層帯の地震を想定して1万2,900人分を備蓄しているということでした。今回の能登半島地震においては相当数の方が避難所に避難されたので、呉羽山断層帯での地震が起きたときはそれ以上の人数が避難所に押しかけることが想定されると思うのですが、備蓄量の計画を今後変更していく予定はないのでしょうか。

防災危機管理課長 一般質問などでもお答えしましたけれども、県の被害想定調査に基づいて数値を算出しておりますので、

その数値が変更されれば富山市においても変更を検討していくことになります。

分科会長 次に、議案説明資料４ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料５ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料６ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料７ページについて質疑はありませんか。

東委員 避難行動の分析調査を行うとのことですが、地震の専門家や研究者は、本年１月１日にあった能登半島地震から１年以内に再び大地震が発生する可能性があるというようなことを過去の研究や状況から分析しております。そのようなことから、今回本市で行う分析調査もできるだけ早く調査を終えて、次の対応を検討していく必要があると考えてのですが、いつ頃をめどにこの分析調査の結果を出す予定なのか、答弁をお願いします。

防災危機管理課長 明確な時期は示せませんが、なるべく早く分析をして市民啓発事業などにつなげたいと考えております。
まず、受託業者による分析は一定程度の可視化ができるものとして考えておりまして、先行的な成果として、出前講座や市ホームページなどで、さきの地震の振り返りとして活用したいと思っております。

また、大学との連携の結果としての成果については、協働することによる学生や市職員のスキルアップそのものが事業の目的でもあるため、相応の時間をかけてじっくりと行いたいと考えております。

東委員 今、明確な時期は示せないという話だったのですが、せめて半年から１年以内には分析結果を出したいななどといっためども立たないのですか。

防災危機管理課長 当然１年以内には出したいと思っておりますが、先行して結果を活用するものと時間をかけて分析するものを使い分けて成果を出していきたいと考えております。

分科会長 次に、議案説明資料８ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料９ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料１０ページについて質疑はありませんか。

飯山委員 （３）事業内容の工、高齢者安全運転支援装置設置促進事業について、６５歳以上の高齢者が常時運転する自家用車に後づけで設置したペダル踏み間違い急発進等抑制装置について補助を行うとのことですが、現在の実績についてお伺いします。

生活安全交通課長 本年３月１４日現在の今年度の実績は、全体で２０件、金額にして４０万円の申請をいただいているところでございます。男女別では男性が８名、女性が１２名で、申請者の平均年齢は７６．２歳です。

分科会長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第1号中防災危機管理部所管分の意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、総務文教分科会防災危機管理部所管分を終了いたします。

午後2時55分 休憩

~~~~~

午後3時06分    再開

分科会長      これより、総務文教分科会教育委員会所管分の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算中、歳出第10款教育費、第2条継続費中、第10款教育費、第3条債務負担行為中、教育委員会所管分  
を議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

教育委員会事務局長    〔挨拶〕

教育委員会事務局長次長    〔教育委員会所管分の概要について、  
(総務・社会教育担当) 議案説明資料により説明〕

教育総務課長      〔議案第1号中  
学びの多様化学校設置検討事業費について、  
議案説明資料により説明〕

- 学校再編推進課長 〔議案第1号中  
統合校の新設事業費について、  
議案説明資料により説明〕
- 学校施設課長 〔議案第1号中  
学校建設費について、  
議案書及び議案説明資料により説明〕
- 学校教育課長 〔議案第1号中  
校内サポートルーム設置事業費について、  
イマージョン教育推進事業費について、  
就学援助事業費（部活動支援）について、  
議案説明資料により説明〕
- 学校保健課長 〔議案第1号中  
子育て世帯に対する学校給食費の負担軽減について、  
学校給食センター等再編整備計画策定事業費について、  
医療的ケア児受入体制整備事業費について、  
議案説明資料により説明〕
- 生涯学習課長 〔議案第1号中  
公民館建設事業費について、  
議案書及び議案説明資料により説明〕
- 教育委員会事務局次長  
（教育センター所長） 〔議案第1号中  
プログラミング機器特別整備事業費について、  
議案説明資料により説明〕
- 科学博物館長 〔議案第1号中  
科学博物館整備事業費について、  
議案説明資料により説明〕
- 教育委員会事務局次長  
（教育センター所長） 〔議案第1号中  
教育ネットワークサーバ機器保守業務委託費の債務  
負担行為について、  
議案書により説明〕

- 分科会長      これより、質疑に入ります。  
質疑は議案説明資料の順に進めます。  
まず、議案説明資料２ページについて質疑はありませんか。
- 柞山委員      学びの多様化学校設置検討事業費について、文部科学省では分教室型よりも学校型を推奨していると思いますが、（３）事業内容には学校型や分教室型の形態などの検討を行うとあります。文部科学省との考え方の違いや富山市の特性について、また、学校型の取組はどのようにしていくのかお伺いします。
- 教育総務課長      国が策定している学びの多様化学校の設置に向けての手引などでは、委員がおっしゃったように、当初は原則として学校型での設置が想定されると記載されておりましたが、昨年発表された国の計画では、分教室型も含めて、将来的には全国でこの学びの多様化学校の設置を増やしていきたいというような方針となっております。  
この学校型、分教室型の施設形態には、やはりそれぞれにメリット、デメリットがございます。  
学校型であれば、当然設備が充実して運営体制も強化されるという点がありますが、その分、例えば施設の整備費が高くなる可能性があります。また、校長の配置といった人的な要件もございます。  
一方で、分教室型であればそのようなことが一定程度緩和されますので、今年度行ったアンケート調査の結果も踏まえて、富山市にとってどのような形が一番よいのか見極めながら調査していきたいと考えています。
- 柞山委員      実際に今、不登校児童・生徒がおられるので、一日も早く対応しなくてはいけないと思うのです。調査したりアンケートを取ったりするよりも、不登校児童・生徒がおられる校区から実際に設置していくべきだと思うのですが、いかがでしょうか。
- 教育総務課長      設置につきましてはやはり予算が伴いますので、市

長部局と協議しながら進めていくことになると思います。

あと、不登校児童・生徒への支援策としましては、学びの多様化学校も1つの選択肢だと思っていますけれども、それ以外にも、新規事業として提案しております校内サポートルーム設置事業や、MAP（適応指導教室）の設置などの不登校支援事業をこれまでも行っております。

学びの多様化学校は、その支援策の1つとして今検討しておりますので、なるべく早く設置してほしいという御意見は受け止めさせていただきますが、この不登校支援はいろいろな事業の中で市全体で支えていくような環境づくりをしていくことが重要かと思っています。

柞山委員

富山市は対象者数の把握や一般財源もありますし、人材確保も大変だろうと思います。

ちなみに、魚津市では全小学校に適応指導教室を設置すると今日のニュースで報道されており、かなり進捗が早いと思っています。もう少し危機感を持って対処していただきたいと思いますが、次年度はどのような方向性になるのでしょうか。

教育総務課長

まず今年度実施した調査に基づきまして、市内でのニーズのようなものが見えてきております。先ほどの答弁の繰り返しになりますけれども、どのような形の施設がいいのか決めていく中で、どの施設を活用できるのかということも大切になってくると思います。施設が決まれば、少し進捗するかと考えております。

分科会長

次に、議案説明資料3ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長

次に、議案説明資料4ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 今定例会の代表質問で防災危機管理部長の答弁にありましたが、体育館の空調設置検討業務委託費を当初予算で提案されております。先ほど学校施設課長から説明がありましたが、小・中学校を含めて検討しているのか、範囲や調査期間等についてもう少し具体的に教えていただけますか。

学校施設課長 代表質問の答弁では体育館ということでしたが、令和5年12月定例会でエアコン未設置の小・中学校特別教室へ、エアコン設置を早期に実現してほしいことに関する陳情が採択されましたように、体育館と特別教室の両方に空調を設置するための検討業務委託費を令和6年度当初予算に計上しております。この業務では、空調方式や必要となる電気設備、体育館の断熱工事、契約の方法などの検討を行い、まずは空調を設置する場合の初期費用やランニングコストを算出することで、今後どのように整備していくのかを検討する基礎データを収集することを目的としております。

この業務は、委託事業者と本市の電気技師、機械技師が協力して作業を進める予定にしているのですが、今、打合せをしていると令和6年度いっぱいかかりそうだということです。今回集めたデータを基にどのように整備していくのかを令和7年度の早い段階で検討して、最短で令和8年度の当初予算に計上できればと考えております。

鋪田委員 特に体育館に関しては、断熱工事が最大の課題だと言われているので、まずはそれができるのかどうかを含めて調査をしていただくと。大きな進歩だと思います。

先日の能登半島地震のような災害発生時もそうですし—令和5年12月定例会の総務文教委員会の陳情の審査で当局の見解が示されたかと思いますが、夏は授業の進め方を工夫しながら支障がないようにしているとのことでありました。実は私も週に5日、小学校でスポーツ指導をしております、夏場はかなり苦労しているのを見ていたので、第一歩として

はよかったと思っております。  
今お聞きすると、令和6年度いっぱいかかりそうだということですが、なるべく速やかに進捗するようにお願いしたいと思います。

赤星委員      私は、体育館の空調設置を検討してくださるという本会議での答弁を聞いて、よかったなと歓迎しております。  
今の説明ですと、体育館と特別教室を同時に進めていくのでしょうか。

学校施設課長      体育館と特別教室を別にしますと、電気の容量を決めるキュービクルをおののどれぐらいのサイズにするのか検討する必要があります。北陸電力に確認したところ、体育館と普通教室、特別教室を分けることも可能らしいのですが、どちらのほうが安いのかは、全部をまとめて試算しないと出てこないものですから、検討段階では体育館と特別教室を同時に進めていきます。結果によってはどちらかを先に設置することはあるかもしれませんが、データ収集は同時に進めていきたいと考えております。

赤星委員      どちらかだけでも、できるだけ早く設置できたらいいなと思います。  
昨年の9月定例会に請願が提出されたので、私も地元の小・中学校に改めて行ってきました。特に堀川中学校は生徒が1,000人以上いて、気温が30度以上ある中、いろいろな部活が体育館にぎゅうぎゅう詰めで活動をしているのです。もうこれはひどい、しんどいと思いましたので、ぜひ鋭意取り組んで早く実現をお願いしたいと思います。

分科会長      次に、議案説明資料5ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員      小・中学校17校に指導員を配置することですけれども、選定基準や理由があれば教えてください。

- 学校教育課長 校内サポートルームを設置する１７校におきましては、今年度の不登校児童・生徒数やその出現率に加え学校規模や地域性を考慮して、小学校８校、中学校９校を選定いたしました。
- 柞山委員 設置対象の小・中学校１７校について、どの学校かは報告できますか。
- 学校教育課長 設置予定校について、小学校は中央小学校、東部小学校、新庄小学校、藤ノ木小学校、堀川南小学校、山室小学校、呉羽小学校、大沢野小学校の８校でございます。
- 中学校については、これまで校内適応指導教室が設置されていた６校に３校を新たに加えておりまして、堀川中学校、東部中学校、新庄中学校、山室中学校、奥田中学校、大泉中学校、水橋中学校、大沢野中学校、上滝中学校の９校でございます。
- 分科会長 次に、議案説明資料６ページについて質疑はありませんか。
- 東委員 新規事業のイマージョン教育推進事業費について、（３）事業内容に水橋地区の４小学校においてイマージョン担当ＡＬＴ１名が主に体育科や音楽科の授業に参加し、子どもたちとの英語でのコミュニケーションを図るとあります。イマージョン担当ＡＬＴと従来のＡＬＴでは、取得している資格や技能面において何か違いがあるのか、答弁を求めます。
- 学校教育課長 今回配置を予定しておりますイマージョン担当ＡＬＴに必要な資格は特にございません。
- ただ、今回の目的は英語を教えることではなくて、先ほども御説明させていただいたように、音楽科や体育科の授業で、英語を使って子どもたちとコミュニケーションを取ることが重要になっておりますので、コミュニケーション能力が高く子どもたちや先生方との意思の疎通がしっかり取れる方で、日本語が堪能であるＡＬＴの指導的立場の方に来ていただ

く予定となっております。

東委員 従来からALTを派遣していただいているところに要請して、そのような人材を発掘していただいたということでしょうか。

学校教育課長 従来からALTの派遣を委託しておりますところに、先行事例としてイメージョン担当ALTの派遣をお願いしているところでございます。

東委員 新規の取組ですので、可能であれば、ぜひとも1年もしくは半年たったところで、その成果を総務文教委員会で報告していただけたらと思います。

分科会長 次に、議案説明資料7ページについて質疑はありませんか。

赤星委員 就学援助事業費（部活動費支援）について、新たに部活動費が支給されることを歓迎します。  
この予算額は1人当たり幾らで、何人分の予算でしょうか。

学校教育課長 1人当たりの上限を国が示す予算単価の上限である3万150円としております。  
来年度の支援対象見込み者数が863名いるうち、今年度の部活動加入率が約87.7%であることから、来年度の支給見込み人数は750名程度と考えております。

東委員 今、支給人数や支給限度額について答弁がありましたが、2,200万円を超える大変大きい金額が必要だということです。どのような用具に幾らぐらいずつ必要なのか、具体的に分かっているのでしょうか。

学校教育課長 参加する競技によって異なりますが、例えば野球であればグローブなど、学校やクラブではなく個人で用意しなくてはならないものを想定しており、支給

額の上限が3万150円となっております。

分科会長 次に、議案説明資料8ページについて質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 次に、議案説明資料9ページについて質疑はありませんか。

東委員 (3)事業内容のア、現況等調査に、先進的な取組を実施している自治体への視察調査とあります。視察予定先と、先進的な取組の具体的な内容について答弁をお願いいたします。

学校保健課長 まず視察先につきましては、東京方面で、最近、全市的、長期的な視点で調理場の再編整備計画を策定したような自治体や、多様な調理方式を導入している自治体など、効果的に参考事例を見ることができる複数の自治体を候補として考えております。各種資料を調査し、委託先からも情報を収集した上で視察したいと考えております。

また、先進的な取組内容につきましては、例えばICTを活用した食指導ツールが導入されていたり、防災備蓄機能を有していたりといった給食調理場に新たな機能を取り入れているような事例を想定しています。加えて、規格外の野菜活用やアレルギーの個別対応などを効果的に行っているような事例も先進的な取組と考えております。

東委員 富山市でまだ導入していないようないろいろな機能やICTについて学んでくることは有効だと思うのですが、その部分のみに走るのではなくて、例えば災害等が起こったときのために残している小規模な学校給食調理場をどのように有効利用するのかということに関してもしっかり調査して、残すものは残すという方向で進めていただきたいと思います。ですが、今後そのような予定はあるのでしょうか。

学校保健課長 本会議での教育委員会事務局長の答弁にもございましたように、長期的、全市的な視野に立って幅広く調査を進めていきたいと考えております。

分科会長 次に、議案説明資料１０ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 （３）事業内容に小・中学校への看護師派遣業務委託とあり、受入れの要件として、原則全ての市立小・中学校、実施の要件として受入れ体制（人員配置や施設環境等）とあります。この人員配置の１つに今回の事業である看護師派遣が入っていると思うのですが、これ以外の学校側の人員配置については、既にその環境が整っていると認識すればよろしいのでしょうか。

学校保健課長 まず医療的ケアというのは、先ほども申し上げましたように、一般的に喀たん吸引やインスリン注射といったような学校や自宅などで日常的に継続して行われる行為を指しまして、こうしたケアに対応するための設備や環境については、実施の前に相談を受けて把握した上で受入れを行うことになります。なお、現在在学中の児童・生徒の医療的ケアの実施においては、保健室の一部や、中にはトイレなどを使用するなどして対応できているという現況がございます。ただ、そういった中でも、新たな設備、整備が必要となるケースが発生した場合には、適宜対応してまいりたいと考えております。

鋪田委員 ということは、今のところ医療的ケア児を受け入れるための学校の設備関係については問題がなく、例えば事前に特別な設備を学校に用意したから受け入れることができたということはないと認識しておけばよろしいですか。

学校保健課長 お見込みのとおりです。

分科会長 次に、議案説明資料１１ページについて質疑はあり

ませんか。

赤星委員 蜷川公民館には児童館が併設されると聞いているのですけれども、その予算はこども家庭部が要求するのでしょうか。

生涯学習課長 児童館と健全育成事業に係る予算については、こども家庭部で要求しております。

分科会長 次に、議案説明資料１２ページについて質疑はありませんか。

鋪田委員 プログラミング教材「スフィロＢＯＬＴ」については、昨年、光陽小学校で授業を拝見し、体験もしました。富山神通ライオンズクラブが寄贈されたものに加えて今回、追加購入されるのだと思いますが、どれぐらいの台数を用意されるのでしょうか。

教育委員会事務局次長 現在のところ８０台の購入を予定しております。２人で１台を使用する場合においては、同時に４学級での使用が可能になると想定しております。加えて、校外適応指導教室で運営しております、ＭＡＰ婦中、ＭＡＰ豊田での配備も現在検討しているところでございます。

鋪田委員 （３）事業内容のウにプログラミングコンテスト等のイベント企画・運営とありますが、光陽小学校での実習のときに、大人側の参加者のほうから、プログラマーの養成と勘違いをされたような発言もあったので、そうではないことをこの事業を広めていく中でしっかりと伝えていくことが必要です。つまりプログラミング的な思考を養成することが目的で、例えば体育の授業で取り入れている学校もあるぐらいなので、その辺をしっかりと伝え、保護者もそれを理解していかないと、なかなか本当の学習効果は出ないと思います。その辺も併せて進める必要があると思いますが、認識をお伺いいたします。

- 教育委員会事務局次長 御指摘のとおりでございます。決してプログラマーを養成するような教育課程ではないということです。「スフィロＢＯＬＴ」という具体的な教材を使って、子どもたちが自分のプログラミングによって動くということを体感し、コンピュータに意図した処理を行わせるという体験を通して様々な論理的思考に反映していくと。
- こういった学習指導要領上の目的というものをしっかりと踏まえた実践になるように、各学校のほうに指導してまいりたいと考えております。
- 分科会長 次に、議案説明資料１３ページについて質疑はありませんか。
- 〔発言する者なし〕
- 分科会長 次に、議案書９ページについて質疑はありませんか。
- 〔発言する者なし〕
- 分科会長 このほかに、予算に関して質疑はありませんか。
- 赤星委員 議案概要書の１０４ページ、児童生徒指導対策事業費について、拡充事業としてスクールソーシャルワーカーを１名増員して１３名の配置とするということです。また増やしていただけて歓迎しております。これによって配置できる学校数が増えるのか、それともスクールソーシャルワーカー１人当たりが受け持つ時間が短くなるのか、その効果について伺います。
- 学校教育課長 令和６年度からスクールソーシャルワーカーを１名増員することにより、１校当たりの時間は昨年度と変わらないのですが、配置する学校を増やす方向で検討しています。
- 赤星委員 何校に配置されるのですか。

学校教育課長 現在、スクールソーシャルワーカーの方々と調整しているところで、まだ確定してはおりません。

赤星委員 現在は何校に配置されているのか教えていただけますか。

学校教育課長 現在、全ての中学校にスクールソーシャルワーカーを配置しております。小学校については、すみません、はっきりとした数を持ち合わせておりませんが、全てではなく一部の小学校に配置しております。

赤星委員 小学校でもいろいろ難しい家庭のケースが増えていると思いますので、できるだけ多くの学校に配置していただけるようお願いしたいと思います。

分科会長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中教育委員会所管分の意見の表明を行います。意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会教育委員会所管分を終了いたします。

午後3時58分 休憩

~~~~~

午後4時54分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会財務部・出納課所管分及び歳入等の議案の審査を行います。
議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算中、歳入全部、歳出第2款総務費中、

財務部及び出納課所管分、第4款衛生費中、財務部所管分、第8款土木費中、財務部所管分、第12款公債費、第13款予備費、第3条債務負担行為中、財務部所管分、第4条地方債、第5条一時借入金、第6条歳出予算の流用、
議案第2号 令和6年度富山市公債管理特別会計予算、
議案第3号 令和6年度富山市駐車場事業特別会計予算、
以上3件を一括議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。

財務部長 〔挨拶〕

財務部次長 〔財務部・出納課所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

管財課長 〔議案第1号中
本庁舎オンライン会議室等整備事業について、
議案説明資料により説明〕

資産税課長 〔議案第1号中
土地評価事務費について、
議案説明資料により説明〕

財政課長 〔議案第1号中
歳入・地方債・一時借入金・流用について、
議案第2号について、
議案書及び議案概要書により説明〕

管財課長 〔議案第3号について、
議案概要書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって、議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第１号中財務部及び出納課所管分並びに歳入全部及び地方債、一時借入金、歳出予算の流用、議案第２号、議案第３号、以上３件を一括して、意見の表明を行います。
意見の表明は、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、総務文教分科会財務部及び出納課所管分並びに歳入等の議案の審査を終了いたします。
これで、３月定例会の当分科会に送付されました、全議案の審査は終了いたしました。
委員各位に御相談申し上げます。
分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 それでは、そのように取り計らいます。
これをもって、令和６年３月定例会の予算決算委員会総務文教分科会を閉会いたします。

令和6年3月定例会
予算決算委員会総務文教分科会記録署名

分科会長 松 井 邦 人

署名委員 飯 山 勝 彦

署名委員 東 篤